

注1…公共施設等の建設、維持管理、運営等に民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用する手法
注2…学校ごとに給食費を管理する「私会計」制度から、市が給食費を歳入・歳出予算として管理する「公会計」制度に移行すること

教育・文化・スポーツ

小学校へのエアコン設置について



城 幸太郎 議員

中学校へのエアコン設置は来年夏に向け計画が進んでいるが、小学校への設置計画はどうなっているのか。小学校への設置台数は中学校の倍以上になるので、初期投資の軽減、費用負担の平準化を考え、「リース方式」や「PFI方式」を採用している自治体が多く見られる。^{注1}このような手法について検討の余地があると思うがどうか。

答

小学校へのエアコン設置についても、なるべく早くできないか検討をしている。導入方法については、リース方式やPFI方式等も含め、さまざまな手法を検討していきたい。



教育・文化・スポーツ

県立・市立一体型図書館の開館に向けて



伊川 京子 議員

来年11月末の開館に向けて、県立・市立一体型図書館の建設が進められているが、市立図書館について、図書の搬入など移転作業のスケジュールはどのようになっているか。来年の夏休みに子どもたちや親子対象の見学会が実施できないか。また、市民を対象にした見学会についての検討はなされているのか。

答

市の図書資料は約15万冊を搬入する予定である。そのうち、書庫や団体貸し出し分の約7万冊は、竣工後すぐに移転可能であるが、残りの約8万冊は、県の図書を並べた後のほうが効率的であるため、県の図書移転の詳細なスケジュールに沿って計画する。また、子どもたちの夏休みの見学会や、建物の竣工後の市民対象の見学会は、県と協議を行い、前向きに検討したい。



教育・文化・スポーツ

学校給食費の徴収は教師の仕事にあらず



神近 寛 議員

文部科学省が取りまとめ、全都道府県に通知した「学校における働き方改革に関する緊急対策」の中に、給食費の徴収について「公会計化を基本とし、教師の業務としないようにすること(趣意)」と明記されている。大村市も3学期制移行の平成32年度に合わせて、給食費を公会計とし、教職員の過剰労働の軽減を図るべきではないか。

答

給食費の公会計化^{注2}については、学校給食事務の透明性の向上、保護者負担の公平性の確保、学校事務負担の軽減等、学校給食が抱える課題に適切に対応するために必要なことと考えている。しかし、公会計へ移行するためには、システムの構築等、検討すべき課題が多くあるため、公会計化を実施している先進都市の事例や、本年度、文部科学省が示すガイドラインを踏まえ、平成32年度の実施に向けて取り組んでいきたい。

教育・文化・スポーツ

小中学校の空調設備設置実現を目指して!!



永尾 高宣 議員

中学校全6校に設置する予定の空調設備はいつから使えるのか。また、文部科学省は今年4月の学校環境衛生基準改正で、教室等の適温を10度以上30度以下から17度以上28度以下に変更しているが、小学校に温度や湿度などを計測する熱中症計は設置しているのか。また、学習意欲向上のため、小学校にも早急に空調設備を設置できないか。

答

中学校の空調設備の供用開始時期については、平成31年度を予定している。また、小学校への熱中症計の設置については、現在、15校中9校に設置しているが、今後、全校に設置するよう対応していきたい。また、小学校の空調設備に関しては、引き続き協議を進めていく。

